



有松まちづくりの会役員会 (11月22日)

- 来年の全国町並みゼミは新潟市で6月11日12日開催と報告がありました。
- 10月に有松でモニターツアーが実施されました(日本遺産事業)。観光業者・アパレル業者・伝統工芸や古い物好き若者対象にそれぞれ実施し、アドバイスをいただきました。有松滞在時間の延長など今後の活動に役立てていきたいです。
- 有松天満社北道路開通。米塚北交差点から東陵交差点(302号)間が11月25日に開通しました。天満社北参道脇の駐車場にはこの新道を使うと便利です。



有松・鳴海絞会館 実演再開 (10月16日)

新型コロナ感染予防のため、絞会館2階での実演は長らく休止していましたが、再開されました。有松観光にはなくてはならないもの。実演中の高橋瞳さんにお話をお伺いしました。

Q1 休止中はなにをされていましたか。

A1 休止中も仕事をしていました。1反するのに1ヶ月程、まだ3反残っています。仕事があるだけありがたいです。

Q2 手蜘蛛絞りが専門なのですね。

A2 本間先生に教えていただきました。60歳で仕事を退職した時、偶然生徒募集のチラシを見て絞り教室に通うことになりました。それから30年ほど。手蜘蛛絞りと相性がよかったのですね。

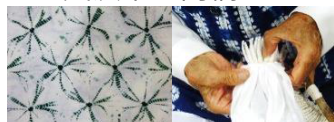
Q3 生きがいになっているようです。

A3 そうです。これまでやってきてよかったと思っています。毎日前後駅までの道掃除と絞りをすることが日課となっています。

92歳という年齢を聞きびっくり。有松絞りの技術者としてこれからもご活躍を願っています。



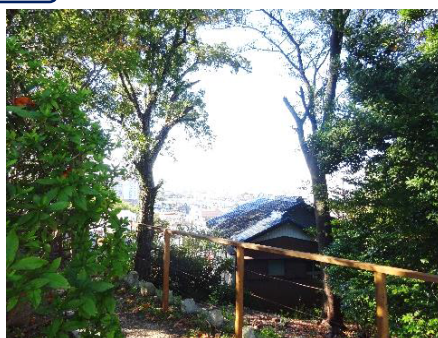
実演中の高橋さん



高根山の雑木伐採作業 (9月4日)

桶狭間古戦場めぐりでよく立ち寄る高根山で雑木の伐採作業が行われました。鳴海方面の眺望をよくするためです。

作業当日は小雨でしたが、桶狭間古戦場保存会の皆さんにより軽トラック10杯分と45Lゴミ袋80個余りの樹木が取り払われ、見通しが大変よくなりました。



〔高根山とは?〕

高根山からの眺望 右上:鳴海方面 右下:説明板

標高54.5m。今川軍の先鋒として松井宗信が着陣し、善照寺砦、中島砦方面の織田軍の動静を監視したところ。善照寺砦から出た佐々、千秋先遣隊との激戦も行われました。

晩秋の有松を楽しむ会（～11月14日:期間中の土日のみ開催）その2

● 草木染めと竹墨アート体験 10/30.31

染色体験の一つ。
早恒染工で行われた
竹墨アート体験を取
材しました。

SDGsを意識した
企画で、「これからの染色を考えるきっかけ
になれば」と仰っていました。

具体的には竹墨パウダーと豆乳を混ぜて作っ
た顔料でシャツに好きなデザインを描くという
もの。事前に考えてきた人も多く、素晴らしい
出来映えでした。アイロンで熱定着させ、水洗いして出来上がり。参加者4人、満足笑顔でした。



思い思いに描いている様子

● 文化財町家特別見学ツアー 11/7

有松の有形文化財のお宅を巡る見学ツアー。所有者による説明があった2軒の報告です。

参加者は10名程。建物に関心のある方が多く、熱心に説明に耳を傾けていました。

〔中濱家住宅〕

主屋や店蔵は明治中期の建造。その間は
落屋根としてその後増築され、蔵前と茶室
が造られた。2階の屋根は低く、女中部屋
として使われ、梯子がかけられていた。書
院造りの茶室が初公開され、琵琶台の上
には次の客を呼ぶ鐘が吊り下げられていた。



蔵前での扉の説明風景



茶室の床の間

蔵の外壁は修理前なまこ壁だったこと、亀甲積みの修復が大変で1年半もかかったことなど知
ることができた。塀周りのくりのいが(猫のおしっこよけ)は、庭から運んで蒔いているとのこと。

〔竹田家住宅〕

幕末建造の主屋店舗から大正初期に増築
の洋間や書院を順に見学。表千家の吉田紹
清好みに建てられた洋間は圧巻。書院には
かつて「民藝」の大会が開かれた縁で床の
間に芹沢銈介氏の作品が掲げられていた。

最後に竹田庄九郎家の遺構である茶室栽
松庵を見学。絞問屋全盛期を偲んだ。

勝海舟の掛け軸に興味をもった。



上:洋間 下:書院



店舗での説明風景

←掛け軸

● 絞りで生きがいを 11/13

棚橋邸では障害を持つ方が中心となって
"靴下絞"の実演や販売が行われていました。
線に沿って針で縫い、絞って出来上がり。
ゆっくりですが休むことなく手を動かして
いました。ひょうたんカフェ主催。



● 書と音楽のインスタレーションライブ 11/13

竹田家三番蔵では、40名の参加者を前に書家と音楽の絶妙な空間が生みだされていました。旅をテーマに、書家：渡部祐子がヴァイオリンとピアノのジプシーを感じさせる音色のもと世界旅行した気分に参加者を誘ってくれました。



渡部祐子(左)とチット・モンテ(中)高橋誠(右)

有松コミセンまつり (11月20日・21日)

第13回の今年のコミセンまつりは、新型コロナ感染予防のため有松小学校講堂(体育館)での舞台発表は行われず、有松コミセンでの作品展示のみとなりました。前日19日の会場設営に参加させていただきました。1階大会議室では8つのグループが、2階では4つのグループが設営に当たり絵画や俳句・短歌・絵手紙・手芸品・木彫・写真などの作品が所狭しと並べられていました。

《有松あないびとの会展示内容の紹介》

来年で20周年を迎えるとのことで、これまでの活動の歩みがパネル3枚に紹介してありました。会結成(2003年)当時の熱気・その後の取り組みが伝わってきました。長らく会を牽引されてきた初代会長故成田治さんの業績も紹介されていました。

また、コーナーの一角に懐かしいポスターがありました。昭和28・29年に全国への宣伝用に作られたもの。有名女優 木暮実千代・山本富士子・有馬稲子を起用したものの1枚です。絞り業界の意気込みが感じられると共に、ポスター柄の浴衣の販売も非常に好評であったとのことでした。

当日、2階休憩所では紙芝居が上演されました。



(上)展示コーナー
(右)紙芝居の様子



個展 早川嘉英 開催 (10月16日～11月30日)

地元有松で早川嘉英氏の初めての個展が、コンサビルという現代アートの建物で開かれました。

絞りを始めたときから嵐絞りに深い関わりを持ち、現在嵐絞りの復元と天然藍染の復活に残された人生を捧げているとのこと。ワークショップを通して若い世代に藍染を伝えていく活動をされています。

10月16日のオープニングでは、篠笛の演奏のあとにこれまでの活動を映像と共に振り返りました。

会場には、絞りによって生まれた立体的な形状を作品にしたものが多数展示されていました。「布というものからアルミ・ガラス・コンクリートなどで表現しようと思った」と話されていました。



オープニングの様子：中央が早川嘉英氏



展示作品から

有松文芸のこみち②

山村幸雄

有松旧東海道沿いに歌碑が7基ある。今回は松野根橋の西紋里堂前にある松本淡々の歌碑を紹介。

『有松や 家の中なる ふちのは那』

作者 松本淡々(まつもと たんたん、1674~1761)

大阪西横堀に生まれ、幼名熊之助、のち伝七。20歳元禄元年(1688)のころ江戸に出て、芭蕉から呂国の号を受けた。芭蕉から呂国の号を受けた。芭蕉没後、元禄七年(1694)不角について因角と改め、のち渭北・半時庵・渤率翁など号し、また曲淵宗治・森三陽と称したこともある。宝永の頃江戸を去り、京都で門戸を張り、かなりの名声を博した

晩年、点印などを竿秋に譲って大阪に移住し、江戸堀に聴権庵を結び、百川朝水と号したが、ここも門人富天に譲って堺に移り、まもなくまた大阪に戻り、身終わるまで島の内鰻谷に居住した。宝暦11年(1761)11月2日『朝霜や 筧(つえ)で画きし富士の山』の一句を辞世として、88歳で没した。

平成16年12月 紋里堂前に近藤好彦氏によって設置されました。

町並み案内で受けた質問から⑤ 有松あないびとの会 伊藤総俊

「Q5 東海道を歩くと2階部分が低い建物が多く見られます。どうして？」

これらの建物は江戸から明治時代に建てられ、「厨子(つし)2階建て」と言われています。2階が低い理由として、大名行列を2階から覗かないようにとか、お客様を見下ろさないようにとか言われていますが、実際は防災上の理由から建物の高さを制限したと考えられます。厨子とは屋根裏の物置の意味だそうです。

明暦3年(1657)の江戸での大火(振袖火事)以降、幕府は高さ制限をするようになりました。

山口家住宅(舁屋)は神谷家住宅(神半)に比べ2階が低いですね。



(左)舁屋:慶応3年建造 (右)神半:昭和11年建造

催事・行事の予定

- 12月 5日(日) 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 12月13日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会
- 12月16日(木) 19:00 有松秋葉大社祭(どんど焼き) 祇園寺 文嶺講
- 12月19日(日) 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 12月20日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- 01月01日(金) 00:00 開門 有松天満社 文嶺講
- 01月01日~03日 09:00 元旦祭 有松天満社 文嶺講

訂正 先月号で女性鬼師の名前を間違えて印刷しました。訂正願います。伊藤さん→伊達さん

発行者: 竹田嘉兵衛 (有松まちづくりの会 会長)

編集者: 加藤 明美 (有松まちづくりの会 広報部員)

HP: pegasus@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。

有松のまち

検索



山車会館のお宝②

山車会館表札

書: 杉本健吉画伯

10月で、愛知県美浜町の杉本美術館が閉館しました。この看板は山車会館開館当初掲げられていました。



